

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

平)

評価対象事業名： 地域公共交通調査事業(計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果
阿波市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域特性と公共交通に関する現況調査 ・市民ニーズ等の調査分析及び検討 ・地域公共交通のあり方の検討 ・地域公共交通運行概要の検討 ・地域公共交通網形成計画のとりまとめ <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理的条件や人口特性、商業施設、医療機関、公共施設等の分布状況を把握した。 ・路線バス沿線の利用者や通学者、高齢者の現状を調査し、既存調査結果と併せて、移動実態及びニーズを把握した。 ・公共交通に関する問題点及び課題の整理を行い、上位・関連計画との整合をとりながら、市民ニーズを踏まえた公共交通のあり方を検討した。 ・多様な公共交通モードについての導入可能性を検討し、今後の公共交通サービス水準を検討するための基礎データを収集した。 ・これまでの調査結果や活性化協議会での検討結果を基に、地域公共交通網形成計画(案)を作成した。 <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通網形成計画(案)について、パブリックコメントを実施し、市民の方々より意見をいただき、必要により修正を行ったのち、協議会において了承を得る。 	A	<p>交通弱者をはじめ市民誰もが利用できる新たな交通モードを導入することで、公共交通空白地を改善し、市内の主な外出先となる施設への移動の利便性向上を図る。また、市外の鉄道等へのアクセスも確保することで、幹線へ接続する支線的な役割を担い、通学者への対応やスクールバス・路線バスの見直しを行うことで事業のスリム化を図り、効率的な公共交通網の形成を目指す。</p> <p>また、地域住民や関係者との協働による意識の高まり等により、維持存続し続ける公共交通の実現を目指す。</p> <p>これらの施策を総合的に実施していくことにより市、事業者、公共交通の利用者が協働し、まちづくりと一体となった公共交通網の形成を目指す計画とする。</p>	<p>自己評価のとおり。</p> <p>阿波市では、市内一部での限られた公共交通網であるため市可住面積の約8割が交通空白地帯で、学生や高齢者を中心に日常生活の移動に不便が生じていた。そのため、市民の公共交通に対する満足度が最も低く、公共交通のあり方を検討するよう意見・要望等が出ていたが、有効な手立てができず、市財政とのバランスを図りながら地域の実情にあった地域公共交通体系の構築が長年の課題であった。</p> <p>こうしたことに対し、将来の阿波市の地域公共交通のあり方を探るため、本調査事業の活用により、地域公共交通の現状と課題の整理、高齢者や学生など市民ニーズ調査を実施することにより現状と課題等を整理・分析し、地域公共交通のあり方やサービス水準を検討するなど、「阿波市地域公共交通網形成計画」として取りまとめられたことは、一次評価と同様、適切な事業であったと判断する。</p> <p>今後は、年度末の計画策定に向けて鋭意作業を実施するとともに、同計画にて盛り込まれた基本方針、目標を達成するための各種施策の取組を着実に実行していくことを期待する。</p>